

4年－Unit 2 単元名 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう

1. 単元目標

- ・世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.
- 天気(weather, sunny, rainy, cloudy, snowy), 状態・気持ち(hot, cold), 動作(stand, sit, stop, jump, turn, walk, run, look, put, touch, play), up, down, on, around, left, let's, today, 身体の部位(hand, leg), 遊び(tag, jump rope, bingo, game), outside, inside, 衣類(shirt, shorts, sweater, pants, boots, cap)
[既出] 挨拶・自己紹介, I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? 状態・気持ち, how, is, it, right, 身体の部位, 色, スポーツ

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、天気や遊びの言い方を知る。</p> <p>○指導者の質問に答え、天気の違いに出会う。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2)</p> <p>【Let's Chant】How's the weather? p.6</p> <p>○どんな場面かな?</p> <p>・児童用テキストの誌面 p.6, 7 を見て、日本各地の登場人物が何をしている様子かを考えて答える。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.6, 7</p> <p>・子供たちの遊びの様子を視聴したり、ALT の話を聞いたりして、自分たちの遊びと世界の子供たちの遊びの共通点や相違点を発表する。</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	◎世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付いている。<行動観察・振り返りカード分析>
2	<p>◆遊びや天気の違いに慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。</p> <p>○天気について指導者の質問に答える。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2)</p> <p>【Let's Chant】How's the weather? p.6</p> <p>○天気図を作ろう。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.8</p> <p>・音声を聞いて天気を聞き取り、登場人物とイラストを線で結ぶ。</p>	◎天気や遊びを聞いて、線で結んでいる。<行動観察・振り返りカード点検>

	<p>○Let's Game</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しむ。 <p>○Let's Sing p.6</p> <p>Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger</p> <p>【Let's Listen 2】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類等の言い方を知る。 ・音声を聞いて天気と衣類を線で結ぶ。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	
3	<p>◆天気の違いに慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○天気について指導者の質問に答える。</p> <p>【Let's Listen 3】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国名と天気を聞き取り、□に天気の色を描く。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。 <p>○天気に応じた好きな遊びを教える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。 <p>【Let's Chant】 How's the weather? p.6</p> <p>○Let's Sing p.6</p> <p>Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger</p> <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎天気を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2)</p> <p>【Let's Chant】 How's the weather? p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気の違いに慣れ親しむ。 <p>○Let's Sing p.6</p> <p>Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger</p> <p>【Activity】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内を歩いて回って友達とペアになり、挨拶をし、指導者が指定した天気に応じて、好きな遊びを尋ね、遊びに誘う。 ・天気に応じて、どんな遊びをしたい友達が何人いたかを表に書く。 <p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p>	<p>◎相手に配慮しながら、遊びについて尋ねたり、自分の好きな遊びに誘ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

4年 Unit 2—Lesson 1 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 1/4時間

目 標 世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、天気や遊びの言い方を知る。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（天気）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○指導者の質問に答え、天気の言い方に出会う。</p> <p>○歌 Hello Song（3年 Unit 2） 【Let's Chant】How's the weather? p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずチャンツを聞いて、続いて分かるところだけを口ずさむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・窓の外をさして、How is the weather?と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用カードを見せる。 ・児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy.と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days?と尋ね、児童に天気の言い方に出会わせるようにする。 ・児童と一緒に歌う。 ・2回ほど聞かせたうえで、次に分かるところだけを口ずさむように言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>How's the weather? How's the weather? Sunny, sunny. It's sunny. Wow. How's the weather? How's the weather? Rainy, rainy. It's rainy. Oh, no. How's the weather? How's the weather? Cloudy, cloudy. It's cloudy. OK. How's the weather? How's the weather? Snowy, snowy. It's snowy. Yeah. Let's make a snowman.</p> </div>	<p>教師用絵カード （天気）</p> <p>デジタル教材</p>
10分	<p>○どんな場面かな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキストの誌面 p.6, 7を見て、日本各地の登場人物が何をしている様子かを考えて答える。 <p>・指導者の質問に答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の登場人物の様子について尋ね、児童の答えやつぶやきを拾いながら、天気や遊びの言い方に何度も触れさせるようにする。その際、デジタル教材の音声（▶のボタン）を聞かせてもよい。 ・登場人物が、それぞれ天気に応じた遊びをしていることに気付かせる。 <p>It's snowy. Let's make a snowman. It's cloudy. Let's play tag. It's rainy. Let's play cards. It's sunny. Let's play dodgeball.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に遊びについて尋ね、やり取りをし、本単元は遊びについて扱うことを意識させ、次のLet's Watch and Thinkにつなげる。他にどんな遊びがあるかを尋ね、児童のつぶやきを拾いながら、それらについても尋ねるとよい。 <p>Do you like tag / card games / dodgeball / soccer / volleyball /Darumasan-ga-koronda?</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
19分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.6, 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの遊びの様子を視聴した 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの遊びの映像資料を見せて、天気によってさまざまな遊びをしていることに気付かせる。また、 	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>

	<p>り、ALT の話を聞いたりして、自分たちの遊びと世界の子供たちの遊びの共通点や相違点を発表する。</p> <p><発言例> 天気によって遊びの仕方がいろいろある、雪が多い地域では雪遊びができる、外国でも日本と同じ遊びをする、外国には日本と違う遊びがある、日本には日本でしかない遊びがあるかもしれない、など。</p>	<p>デジタル教材の映像資料を見せた後、ALT がいれば、ALT に母国の小学生の遊びを紹介してもらったり、いなければインターネットで世界の遊びの例を紹介したりして、世界の子供たちの遊びを知らせる。</p>	
		<p>① I'm in Hokkaido. It's snowy. It's very cold. Let's make a snowman!</p> <p>② Hi, it's cloudy here. Let's play tag in the playground!</p> <p>③ Oh, it's rainy. Let's play cards in the classroom.</p> <p>④ Hi, it's sunny here. Let's go outside and play dodgeball. I like dodgeball very much.</p>	
		<p>◎世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>	
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。</p>	振り返りカード
1分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材

4年 Unit 2-Lesson 2 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 2/4時間

目 標 遊びや天気の違いに慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。

準 備 児童用テキスト、教師用カード(天気、衣類等)、ワークシート(Unit 2-1~2-4)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○天気について指導者の質問に答える。</p> <p>○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】How's the weather? p.6</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 窓の外をさして、How is the weather? と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用絵カードを見せる。 児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy. と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days? と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをする。 児童と一緒に歌ったり、チャンツを言ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>How's the weather? How's the weather? Sunny, sunny. It's sunny. Wow. How's the weather? How's the weather? Rainy, rainy. It's rainy. Oh, no. How's the weather? How's the weather? Cloudy, cloudy. It's cloudy. OK. How's the weather? How's the weather? Snowy, snowy. It's snowy. Yeah. Let's make a snowman.</p> </div>	<p>教師用カード (天気)</p> <p>デジタル教材</p>
13分	<p>○天気図を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート (Unit 2-1) の天気カードを切り取っておく。 指導者の言う天気を聞いて、日本地図に天気カードを貼る。 その地域での遊びを提案する。 <p>【Let's Listen 1】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の名前を確認する。 音声を聞いて天気と遊びを聞き取り、登場人物とイラストを線で結ぶ。 それぞれの遊びはどのような遊びかを確認する。 2人の会話はどのような場面かを推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの日本地図で、まず自分たちの学校がある都道府県がどのあたりかを児童と確認したうえで、例のように北海道、四国、九州、沖縄の天気を言う。その際児童に天気を尋ねさせるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>やり取りの例</p> <p>Ss: How's the weather? T: It's snowy in Hokkaido. It's cold. Ss: How's the weather? T: It's rainy in Shikoku. It's not cold. It's not hot. Ss: How's the weather? T: It's cloudy in Kyushu. It's not cold. It's not hot. Ss: How's the weather? T: It's sunny in Okinawa. It's hot.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 児童用テキスト p.8 を開かせ、3人の登場人物 (No.1 Takeru, No.2 Sayo, No.3 William) の名前を確認する。 音声を聞いて天気と遊びを聞き取るよう言う。 音声は2人の子供のやり取りで、まず天気について言い、その後天気に応じた遊びをしようと提案する内容となっている。そこで、児童の音声を聞く意欲をより高めるために、天気についてやり取りが行われた後、いったん止めて、誌面の3つのどれかを尋ねたうえで、そのイラストに示されている遊びは何かを児童に尋ね 	<p>ワークシート (Unit 2-1)</p> <p>デジタル教材 児童用テキスト</p>

		<p>る。(sunny: dodgeball, cloudy: tag, rainy: card)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声の続きを聞かせ、みんなで言った遊びが聞こえたかを確認する。また、2人の会話はどのような場面かを推測させ、発表させる。 ・誌面にある3つの遊びや他の遊びについて児童とやり取りをする。 <p>Do you like 'tag / card games / dodgeball / soccer / volleyball / <i>Darumasan-ga-koronda</i> / <i>Senchosan-ga-iimashita</i>'? など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「船長さんが言いました」について尋ね、次の活動につなげる。 	
		<div data-bbox="406 593 1141 1131" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 たける : How's the weather? エミリー : It's rainy. たける : Oh, well. Let's play cards, then. エミリー : OK.</p> <p>2 さよ : How's the weather? ロバート : It's cloudy. さよ : Then, let's play tag outside. ロバート : Sounds good.</p> <p>3 ウィリアム : How's the weather? ひなた : It's sunny. ウィリアム : Oh, let's go outside and let's play tag. ひなた : Umm, no, sorry. I don't like playing tag. Let's play dodgeball. ウィリアム : Yes, let's!</p> </div> <p>◎天気や遊びを聞いて、線で結んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>O'Let's' Game</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にゲームをしながらルールを知る。 ・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「船長さんが言いました」とよく似た遊びをみんなでやってみようと呼びかける。 ・実際にゲームを進めながらルールを理解させる。 ・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しませるのがねらいで、テンポよく指示を出すことがポイントである。 ・また、児童が慣れてきたら、言っていることと違う動作をするなど、児童が飽きずに取り組み指示を集中して聞くよう工夫する。 ・最後に体の部位を取り上げ、(Let's) Touch your head / nose / mouth / chin / arm / leg / foot. と指示を出し、次の Let's Sing につなげる。ただし、次の Let's Sing は英語のリズムに慣れ親しませることがねらいであり、歌詞にある語句が言えるように慣れ親しませることを求めているわけではない。 	

	<p>'Let's' Game の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's を付けたときはその後続く指示どおりの動きをし、Let's を付けない時は動かないというゲームだが、以下のように進めながら児童がルールを理解できるようにする。 ・ 指導者は動作を付けながら、Let's stand up / sit down / turn right / jump / walk / run / stop / touch your nose. などと動作を言い、児童に真似て動作をするよう促す。Let's touch your T-shirt / shorts / sweater / pants. などと、衣類の言い方も取り入れる。 ・ 突然、Let's を付けずに動作を言い、間違っして真似た児童に Oh, no! と言って座るよう指示をし、Let's が付くかどうかポイントであることに気付かせるようにする。 ・ 何度も繰り返し動作を付けながら指示を出す。 		
6分	<p>○Let's Sing p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものをさし示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Rain, rain, go away Rain, rain, go away, come again another day. [My dog / My cat / Little Sayo] wants to play, rain, rain, go away.</p> <p>Eeny, meeny, miny, moe Eeny, meeny, miny, moe, catch a tiger by the toe. If he hollers, let him go. Eeny, meeny, miny, moe.</p> <p>One little finger One little finger, one little finger, one little finger, tap tap tap. Point your finger up. Point your finger down. Put it on your head. Head! (head→nose→chin→arm→leg→foot)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's play more! と、前活動の続きでいろいろな遊びをしようと呼びかけ、Let's Sing を行う。 ・ デジタル教材の画面に示される Let's Sing の歌詞の語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく、英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。休み時間等に児童が思わずこれらのリズムを口ずさんだりしている様子が見られる程度を目指したい。 ・ 3曲収録されており、児童の実態に応じて選択して歌うとよい。 ・ One little finger は指導者が動作を付けながら歌う、あるいは、ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり、ほかの2曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。数回聞かせた後、一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ、児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。 <p>※Eeny, meeny, miny, moe は、日本でいうわらべ歌の「どちらにしようかな」のようなもので、英語圏で子供が歌っている数え歌である。オニを決めたりする際に歌ったりする。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)
8分	<p>【Let's Listen 2】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 衣類等の言い方を知る。 ・ 音声を聞いて天気と衣類を線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を聞かせる前に、誌面にある天気や衣類等で言えるものを言うよう促す。 ・ 天気に応じてどのような衣類がふさわしいかを児童に考えさせ、これから聞く音声は、親が子に天気に応じた衣類を着るように言っている場面であることを伝え、その確認として音声を聞かせることで、意欲的に聞かせるようにする。 ・ 指導者は児童の答えやつぶやきを拾いながら、衣類等の言い方を紹介するとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (衣類等)

		brown / red cap, blue / green shirt, black / yellow boots	
	① Look, it's sunny. Put on your cap. No, not the brown cap. Put on the red cap. ② Oh, it's cloudy. Put on your shirt. No, not the blue shirt. Put on the green shirt. ③ Oh, it's rainy. Put on your boots. No, not the black boots. Put on the yellow boots. ④ Look! It's snowy. Don't forget your boots. That's right. Put on the black boots. Let's make a snowman!		
5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

<p>4年 Unit 2-Lesson 3 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 3/4時間</p> <p>目 標 天気の違いに慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>準 備 児童用テキスト、教師用カード（遊び、天気）、ワークシート（Unit 2-2～2-4）、デジタル教材、振り返りカード</p>
--

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○天気について指導者の質問に答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 窓の外をさして、How is the weather? と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用絵カードを見せる。 児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy. と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days? と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをする。 	教師用カード（天気）
5分	<p>【Let's Listen 3】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> 国名と天気を聞き取り、□に天気の色を描く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1度音声を聞いて聞き取れた国名・地名を発表させ、誌面でその位置を確認してから、再度音声を聞かせ、□に天気の色（p.9 Let's Listen 3 の天気の色マーク参照）を描かせる。 他にもどのような天気があるかと投げかけ、世界の天気予報を聞いてみようと呼びかけ、次の活動につなげる。 <p>◎天気を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.1: I'm in Japan. It's sunny here. No.2: I'm in Egypt. It's sunny. No.3: I'm in Greenland. It's snowy. No.4: Hi, I'm in Canada. It's cloudy today. No.5: I'm in Brazil. It's rainy. No.6: I'm in Hawaii. It's sunny. It's so hot!</p>		
6分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.9</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細を聞き取るのではなく、世界にはさまざまな自然環境があることに注意を向けさせる。天気を通じて世界への関心を高めることがねらいである。 	デジタル教材
	<p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> cats と dogs って聞こえたけど天気と関係あるのかな。 アメリカでは台風のことをハリケーンって呼ぶのかな。 ニュージーランドも雪がたくさん降るんだね。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>気象予報士: Good morning. It's the time of the world weather.</p> <p>① How about Indonesia? Oh, it rains cats and dogs. Don't forget to carry an umbrella.</p> <p>② How about America? Oh, very very strong wind! A big hurricane is coming. Don't go outside and be careful.</p> <p>③ How about New Zealand? Wow, it's snowy. We can see a blanket of snow on the top of the mountains. Don't forget to put on your gloves!</p>	
14分	<p>○天気に応じた好きな遊びを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の提案に、No! / Yes, let's. などと答えたり、天気に応じた遊びを提案したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で Let's Watch and Think 2 の3種類の映像で、天気の様子がよく分かるところで映像を止め、児童を遊びに誘う。あえて、その天気の中にふさわしくない遊びを提案し、児童から No! という返答が来るように仕向け、ではどのような遊びがよいか児童に考えさせることで、児童が天気に応じた遊びを提案したいという意欲を高めるようにする。そうすることで、ペアで天気に応じた遊びを提案をするやり取りにつなげる。 	デジタル教材 教師用カード（遊び、天気）

	<p>指導者の発話例</p> <p>Now in Indonesia. It's rainy. Umm. I like soccer. Everyone, let's play soccer! OK? No? Let's play ...?</p> <p>Now in America. It's windy. Umm, I like dodgeball. Let's play dodgeball. OK? No? Let's play ...?</p> <p>Now in New Zealand. It's snowy. Umm, I like snow! Let's make a snowman. OK? No? Let's play ...?</p> <p>・ペアになり，天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。</p>	<p>・ペアで好きな遊びを紹介し合い，sunny, rainy, cloudy等の天気の日に適したと思う遊びを互いに提案するよう言う。隣，前後，斜めで繰り返し行わせる。</p> <p>・児童の実態に応じて，指導者が It's sunny. などと天気を設定したうえで，児童にやり取りをさせてもよい。答え方のパターンを決めずに，児童にどの遊びにするか，どう応じるかを決めさせたい。</p>	
	<p>やり取りの例</p> <p>A: I like dodgeball. Do you like dodgeball? B: Yes, I do. I like dodgeball. I like soccer, too. A: Let's play dodgeball. B: Yes, let's.</p> <p>C: I like <i>kendama</i>. Do you like <i>kendama</i>? D: No, I don't. Do you like card games? C: Yes, I do. I like card games. D: Let's play card games.</p>	<p>E: I like tag. Do you like tag? F: Yes, I do. I like volleyball, too. Do you like volleyball? E: Yes, I do. Let's play volleyball. F: Yes, let's.</p> <p>G: I like tag. Do you like tag? H: Yes, I do. I like volleyball, too. Do you like volleyball? G: Yes, I do. Let's play tag. H: Umm..., sorry. Let's play volleyball. G: Yes, let's.</p>	
		<p>◎好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
12分	<p>[Let's Chant] How's the weather? p.6 ○Let's Sing p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものをさし示す。</p>	<p>・児童と一緒にチャンツを言ったり，歌ったりする。</p> <p>・デジタル教材の画面では，Let's Sing の歌詞が表示されるが，これらの語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく，英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。3曲収録されており，児童の実態に応じて選択して歌うとよい。</p> <p>・One little finger は指導者が動作を付けながら歌う，あるいは，ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり，ほかの2曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ，児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)
5分	<p>・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。</p>	振り返りカード
2分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	デジタル教材

4年 Unit 2-Lesson 4 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう 4/4時間
目 標 相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。
準 備 児童用テキスト、教師用カード (天気)、ワークシート (Unit 2-2~2-4)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
2分	挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。	
3分	○歌 Hello Song (3年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6 ・天気の違いに慣れ親しむ。	・児童と一緒に歌ったり、チャンツを言ったりする。	デジタル教材
6分	○Let's Sing p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものをさし示す。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 ・デジタル教材の画面では、Let's Sing の歌詞が表示されるが、これらの語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく、英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。3曲収録されており、児童の実態に応じて選択して歌うとよい。 ・One little finger は指導者が動作を付けながら歌う、あるいは、ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり、ほかの2曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ、児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>Rain, rain, go away Rain, rain, go away, come again another day. [My dog / My cat / Little Sayo] wants to play, rain, rain, go away.</p> <p>Eeny, meeny, miny, moe Eeny, meeny, miny, moe, catch a tiger by the toe. If he hollers, let him go. Eeny, meeny, miny, moe.</p> <p>One little finger One little finger, one little finger, one little finger, tap tap tap. Point your finger up. Point your finger down. Put it on your head. Head! (head→nose→chin→arm→leg→foot)</p> </div>			
28分	【Activity】 p.9 ・指導者の質問に答えてやり取りしながら、遊びの言い方や誘い方を繰り返し聞き聞いたり言ったりする。	・指導者は、数名の児童にどんな遊びが好きかを尋ねてやり取りをし、遊びの言い方や誘い方等を思い出させながら、次の活動につなげるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (天気)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>指導者と児童のやり取りの例</p> <p>T : Dodgeball, tag, jump rope, bingo, card game, quiz, hide-and-seek, Darumasan-ga-koronda, Kan-keri, soccer, volleyball. What do you like? I like 'tag'. Do you like 'tag'?</p> <p>S1: Yes, I do. (次ページに続く)</p> </div>			

指導者と児童のやり取りの例（つづき）

T : Great. Let's play 'tag', OK?
 S1: Yes, let's.
 T : Thank you, S1. S2, do you like 'tag'?
 S2: No, I don't.
 T : Oh, that's OK. How about 'jump rope'? Do you like 'jump rope'?
 S2: No, I don't.
 T : I see. How about 'card game'? Do you like 'card game'?
 S2: Yes, I do.
 T : That's good. Let's play 'card game', OK?
 S2: Yes, let's.

・教室内を歩いて回って友達とペアになり、挨拶をし、指導者が指定した天気に応じて、好きな遊びを尋ね、遊びに誘う。

指導者と児童のやり取りの例

T: It's sunny today.
 A: I like dodgeball.
 Do you like dodgeball?
 B: Yes, I do. I like soccer, too.
 Do you like soccer?
 A: Yes, I do. Let's play dodgeball.
 B: Umm.... Yes, let's.

 A: Do you like dodgeball?
 C: Yes, I do. I like soccer, too.
 Do you like soccer?
 A: Yes, I do. Let's play soccer.
 C: Yes, let's.

 A: I like dodgeball.
 Do you like dodgeball?
 D: No, I don't. I like soccer.
 Do you like soccer?
 A: Yes, I do.
 D: Let's play soccer.
 A: Yes, let's.

 A: I like dodgeball.
 Do you like dodgeball?
 E: No, I don't. I like tag.
 Do you like tag?
 A: No, I don't. Do you like soccer?
 E: Yes, I do. Let's play soccer.
 A: Yes, let's.

・天気に応じて、どんな遊びをした
 い友達は何人いたかを表に書く。
 ・インタビュー結果から、晴れの日
 /雨の日にどの遊びが人気かを発表

・指導者が On a sunny / rainy day などと天気を指定する。
 ・特別活動や中間休みなどの時間を利用して、みんなで行う遊びを決めるために、1番人気の遊びを尋ね合おうなどと、児童の尋ねたいという意欲を高める工夫をする。
 ・特別活動で「学級生活の改善を図るために折り合いを付ける力を育成する」活動と連動させることで、「相手に配慮しながら」というねらいにより迫ることができると考えられる。学級会活動などと連動させ、都合がつかなら実際に遊びをして、外国語活動での活動を実生活につなげることで、児童の外国語活動への意欲をより高めたい。
 ・4年生なりに相手の話に耳を傾け、反応すること、相手に伝わっていることを意識して問いかけたり、繰り返し返したりすることを大切にさせたい。
 ・インタビュー結果から、各児童にみんなで行いたい1番人気の遊びを予想させる。その後、全児童が揃ってみんなで行いたい遊びを言っていき、予想と合っていたかを確認させる。
 ◎相手に配慮しながら、遊びについて尋ねたり、自分の好きな遊びに誘ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に，児童が晴れの日／雨の日にみんなで行いたい遊びを言っていき，インタビュー結果と比べる。 		
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。 	振り返りカード
1分	<p>○歌 Goodbye Song (3年 Unit 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。 	デジタル教材